

第124回 ふじのくに防災学講座

- 日 時 令和2年1月18日(土) 10時30分～12時00分
- 会 場 ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ4階401会議室
(沼津市大手町1丁目1-4)

テーマ 「富士山噴火と我が国の火山防災」

講 師 東京大学名誉教授・元火山噴火予知連絡会会長

藤井 敏嗣 氏

(講演概要)

富士山は過去 3500 年間、平均的には数十年間隔で噴火を続けてきた。しかし、宝永噴火以来、平均噴火間隔の 10 倍近い 300 年以上噴火していないので、いまや富士山はいつ噴火してもおかしくない。一般に噴火の前兆を捉えられるのは数時間から数日前であることからすると、現在何の兆候も見られないが、近々の噴火がないとも言えない。噴火の発生に備えて日ごろから準備しておくことが必要である。講演では、富士山噴火に加えて、わが国の火山防災体制の現状と課題についても述べる。

